

HGG001-12

会場:201A

時間:5月26日 11:50-12:05

プーケットの土地利用変化と津波災害 Land use change and natural disaster in Phuket Island

春山 成子^{1*}

Shigeko Haruyama^{1*}

¹ 三重大学大学院

¹ Mie university

プーケット島西海岸のポケットビーチにおいて、2004年に発生した津波災害における災害時・後の各地域の対応について調査した。本研究で取り上げた4行政地区はリゾート地域の拡大過程、並びに、社会構造の史的展開過程が異なっている。ポケットビーチという自然環境を考えると、被災状況には近似しているが、自然災害を受けた地域での復興・防災活動には差異が認められ、地盤条件に不適合な土地利用変化が地域防災力に脆弱性を生み出している。最も小さな「公」としての地区をみると、地区内の組織が積極的に関わった地区と消極的な地区、地域内の災害復興にはかかわらなかった地区などに大きな地域差異を認めることができた。減災計画を考える場合には、ハードインフラとして防災施設を建設するのみではなく、災害時ならびに復興時には地域コミュニティーの活動の迅速性と持続的な活動、さらに、地域内での共助が災害難民をださないための大きな鍵を握っていると考えられる。リゾート地域が拡大していくなかで、地域社会を生活場としない人口が増加し、地域とかわからない域外からの人口移動がみられる地域では、従来、タイ社会が持っていた伝統的な地域防災力を担う機能が失われていることがわかった。持続的な地域防災力を備えること、さらに、本研究で提示できた地形環境を考慮した適切な持続可能な土地利用計画にむけた地理学からの提案が必要である。

キーワード: 津波, 土地利用, 地形, プーケット, 防災

Keywords: Tsunami, land use, landform, Phket, disaster prevention